



たましんりんかがくえん
多摩森林科学園
 森を楽しむ見学ガイド

高尾駅から
 徒歩10分で
 森の入口



多摩森林科学園は森林に関する研究機関です。森の科学館、樹木園、サクラ保存林を通年公開しています。

森の科学館 ～森のあれこれ～

常設展示

- ・多摩の森の生き物たち
多摩の森の植物やそこに住む動物のくらしを紹介しています。
- ・サクラ保存林へようこそ
桜の野生種、長い歴史を持つ栽培品種、開花時期など、桜の基礎知識を紹介しています。
- ・ようこそ森の学校へ
森林から林業、身近な木材まで森林の多様な魅力を体験しながら学ぶ森林教育のプログラムを紹介しています。

特別展示

- ・期間限定で企画展を行っています。

セミナー室

- ・森林講座(毎月1回)など開催します。

館内に園内ガイドマップ
 をとりそろえています。
 お好きなマップをどうぞ。



一般の方へ：園内ガイドツアー

森の案内人が樹木園、サクラ保存林や残された自然林をご案内する2時間ほどのガイドツアーです。森を散策しながら、動植物、樹木の名前と見分け方、季節の見どころ、森の機能などについて解説いたします。お気軽に参加ください。(平日のみ・10時出発・申込不要)

学校の方へ：学習入園

小学校・中学校・高校等の授業の一環としての森林に関する体験学習の支援をしております。学習入園では、無料で入園していただき、園内ガイドなども利用いただけます。(事前申込をお願いします)

サクラ保存林 ～3月後半から4月末まで華やかに咲く～

8ヘクタールの広さを持つサクラ保存林には、日本全国の主要なサクラの栽培品種や名木、天然記念物などの接ぎ木クローンが、約500栽培ライン、1,400本植えられています。

サクラの栽培品種は江戸時代以前から多くの種類が育成されてきましたが、現代に引き継がれているのはその一部です。このような伝統的栽培品種を収集・保全し、正確な識別・分類や系統関係の研究を進めています。

サクラの開花期については約30年間の観測が継続されています。'染井吉野'の開花記録は気象庁によって全国で蓄積されていますが、サクラ保存林では同じ場所での多種類の観測記録が蓄積されています。



桜めぐり

桜シーズンには園内の桜の開花状況をホームページで発信しています。多くの桜が咲くのは3月後半から4月末までの期間です。染井吉野よりも遅く咲く八重桜の仲間も多いので、長い期間、桜の花を楽しむことができます。

